

蓮中祭（展示の部）

21日（土）は蓮中祭（展示の部）にご来校くださりありがとうございました。多くの保護者の方々の参観の中、今年度から始めたポスターセッションを行うことができました。生徒たちは緊張した面持ちでしたが、自分たちのグループが調べてきたことや体験したことを発表することができました。これは、本校の学校経営計画に掲げている「自ら学ぶ生徒の育成」の取り組みの一つになります。1年生はSDG'sの取り組みについて自ら課題をもち、その解決のために世界や日本、企業や個人などでは何かなされているのか、自分たちは何ができるのかを探究してきました。また、2年生は3日間の職場体験で学んだこと、考えたことをまとめ発表しました。この取り組みは、総合的な学習の時間を使って準備を進めてきましたが、準備の時間が限られていたり、初めての取り組みであったりということで、探究の仕方や発表の仕方について改善の余地はまだまだあると思います。しかしながら、このポスターセッションを行った一番の目的は、今年度の学校経営計画に示している今年度の重点（★二重線部参照）の達成にありますので、その点においては生徒たちの頑張りが多く見られました。ぜひこの経験を来年度に生かしてさらに充実した学びにつなげていきたいと考えています。



3年生は蓮中祭（舞台発表の部）において、すでに修学旅行の発表を終えていたため、今回の学校公開はディベートを行いました。自分で考えたことをグループで共有し、考えをまとめたうえで発表していくディベートは大変に見応えがありました。意見を述べている3年生の表情がとてもよかったことが印象に残りました。

体育館1、2階に展示されていた作品は、今年度各教科で制作してきた成果を見ることができました。とても丁寧に仕上がっており、こちらも見応えがあるものでした。

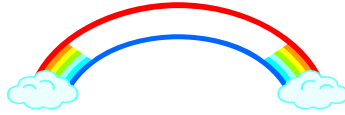
寒い中でのご来校、ご参観、ありがとうございました。

★今年度の重点

「生徒のための学校、学ぶことが楽しい学校」を目指し、生徒が通いたくなる学校になるよう次の重点を掲げて取り組んでいく。

学校において、いじめの未然防止や早期解決、また不登校（傾向）生徒への対応は喫緊の課題である。この課題を解決していくためには、授業や行事、部活動等の学校生活において、生徒一人一人が課題意識をもって自ら考え、仲間の意見を聴き合う関係性を構築しながら、その課題を解決していくような「探究的な学び」を進めていくことが有効ではないかと考える。そのために、今年度の研究主題として「いじめの未然防止・不登校（傾向）生徒へのさらなる対応のために～『探究的な学び』を通して～」(令和4・5年度)を設定し、全教職員が同じビジョンをもって組織的に取り組んでいく。

蓮中祭展示部門について



副校長 久住 直子

1月23日は蓮中祭展示部門。どれも力作そろいで大変見応えがある展示発表でした。一つ一つの作品を見ながら、生徒の皆さんの顔を思い浮かべていました。「ああ、あの生徒はこういう作品を作るんだ」とか、「同じパーツを使っているけど、一人一人個性が出るなあ」とか「この人のこの作品のここがいいなあ」とか。生徒の皆さんが書いた新聞やレポートからは、私自身、勉強することがたくさんありました。

鑑賞の様子も、興味をもってじっくりと静かに作品の間を巡っていてその態度も素晴らしかったです。蓮沼中の皆さんの良さをまた実感できた一日でした。準備片付けを積極的にしてくれた実行委員、各係の皆さん、ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

私は学校というところは「虹の足元」だと思います。虹を想像してみてください。虹の両足の足元にいる人は、自分自身の頭上に虹が出ていることには気がつきません。君たちは今、自分たちの頭上に虹が出ていて、「周囲」を明るく照らしているとは思わないでしょう。「周囲」とは、この地域の方々だったり、友達だったり、保護者の方々のような誰か身近な人の心の中だったり・・・君たちが一生懸命にいろいろなことに取り組む姿に、元気をもったり励まされたりしている人がたくさんいるということを知ってほしいな、と思います。

今は気付かないかもしれませんが。虹は遠くから眺めて初めて「虹」と認識できます。君たちも卒業して大人になって、「蓮沼中からは虹が出ていたな」と思う日が来ると思います。これからもみんなで「虹のように周囲を明るく照らす蓮沼中」を続けていきましょう。

当日は、寒風吹きすさぶ中たくさんの保護者の方々にご来校いただき、誠にありがとうございました。

今後とも、よろしくお願いいたします。

追伸:蓮中祭アンケートを31日まで募集中です。

